文部科学省研究指定
平成30年度から平成32年度

SPH Super Professional High school

KUMAKO

平成 30 年度　熊本県立熊本工業高等学校 SPH の概要

産学官協働により災害対応型エンジニアを育成する教育プログラムの開発

全国へ発信

産学官協働災害対応型人材育成プログラム全国へ発信

創る　将来

- 速やかにインフラ復旧ができる
- 地震に強い建造物を再建できる
- 安全で安心できる コミュニティを構築できる

身に付ける　3年目

専門技術・技能　地域貢献力　イメージ力　マネジメント力

先端技術実習　実践的活動

- モノの力を活かす i-construction
- 木の力を活かす 新耐震技術
- 人のつながりを活かす Design

体験する　2年目

インフラ整備能力を培う	建造物の改善能力を培う	コミュニティデザインの考え方を培う
体験的技術学習	体験的技術技能学習	体験的技術学習
インターンシップ インフラ整備システムの調査 防災マネジメントワークショップ 先進工法実施地区視察研修	インターンシップ 応急仮設住宅研究 被災建造物の構造調査 歴史的建造物図面・模型製作	ワークショップ 避難所運営・生活支援体験 仮設住宅や災害公営住宅等の調査 防災復興に向けたまちづくりの調査
防災マネジメント 調査・設計　施工技術	復興支援 建築・診断・伝承　素材工法	コミュニティ　アメニティ

気付く　1年目

防災・復興について概要を把握する今後求められる技術は何か理解する

興味・関心を高める（観る知る調査する）計画的に学ぶ

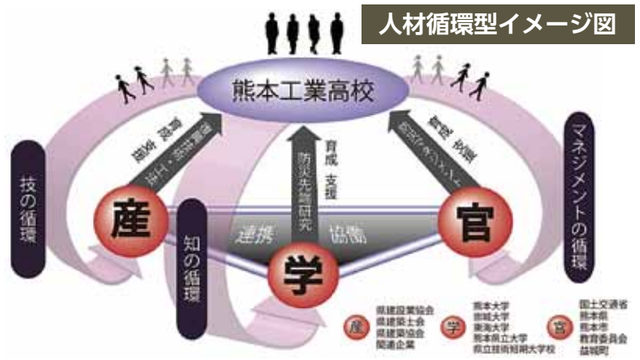
地域学習・震災学習行政と企業による実践的技術指導新技術や工法を知る県内外被災地訪問ワークショップ開催

3本の矢

- 1本目　Ⅰ型　インフラ　土木　課題：インフラ整備に係る技術者育成確保
- 2本目　Ⅱ型　住居・建造物伝承　建築　課題：すまいに関する熟練技術の伝承
- 3本目　Ⅲ型　コミュニティ アメニティデザイン　インテリア　課題：防災復興に向けたコミュニティづくり

過去の震災から学ぶ姿

人材循環型イメージ図



CAMPUS MAP

広大な敷地で緑あふれるキャンパス

明治31年4月に熊本県工業学校として誕生しました。文武両道を推進し、知（確かな学力）、徳（豊かな心）、体（健康な体）のバランスの取れた生きる力を育んでおり、多くのクラブ活動で実績をあげています。

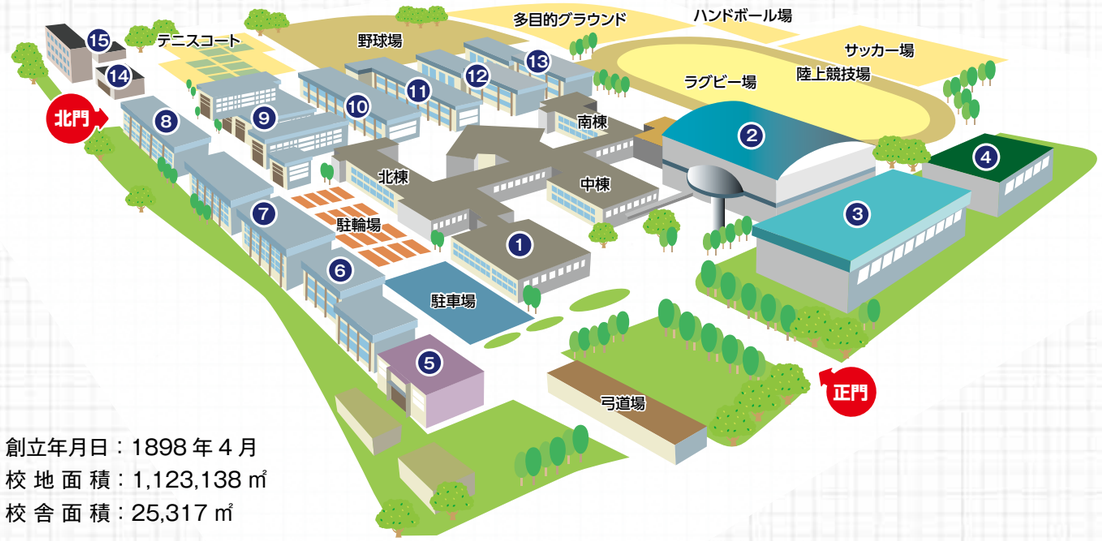
1 管理棟（受付・事務室）

2 第一体育館

3 第二体育館

4 プール

5 熊工会館



創立年月日：1898 年 4 月
校 地 面 積：1,123,138 ㎡
校 舎 面 積：25,317 ㎡

6 土木科実習棟

7 工業化学科実習棟

8 材料技術科実習棟

9 1F機械科実習棟 3F情報システム科実習棟

10 繊維工業科実習棟

11 1F電気科実習棟 2F電子科実習棟

12 インテリア科実習棟

13 建築科実習棟

14 セミナーハウス

15 熊工寮